
令和3年度 中間決算の概要(9月期)

地方公共団体金融機構

令和3年度中間決算のポイント

◇ 経常利益は494億円で、前中間期に比べ、69億円の減少
中間純利益は92億円で、前中間期に比べ、3億円の減少

◇ 資産総額は貸付金等24兆7,870億円で、前年度末に比べ、705億円の減少
負債総額は債券等24兆4,383億円で、前年度末に比べ、786億円の減少
純資産総額は利益剰余金等3,486億円で、前年度末に比べ、80億円の増加

◇ 地方公共団体健全化基金は9,202億円で、前年度と同額
金利変動準備金は2兆2,000億円で、前年度と同額
公庫債権金利変動準備金は6,630億円で、前年度末に比べ、221億円の増加

会計処理等は、原則として企業会計原則による。なお、地方公共団体健全化基金、金利変動準備金等の機構特有の財務基盤に係る会計処理については、関係法令の規定等による。

利益の状況 [機構全体]

- ◇ 当中間期の**経常利益は494億円**で、前中間期に比べ、69億円の減少(▲12.4%)。貸付金利息の減少額が債券利息の減少額を70億円上回ったこと等が要因
- ◇ **中間純利益は92億円**で、前中間期に比べ、3億円の減少(▲3.8%)。一般勘定の中間純利益が減少したことが要因

科 目	R3中間決算(A)	R2中間決算(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	1,139億円	1,287億円	▲148億円
貸 付 金 利 息	1,134億円	1,283億円	▲148億円
そ の 他	4億円	4億円	0億円
経 常 費 用	644億円	723億円	▲78億円
債 券 利 息	604億円	683億円	▲78億円
そ の 他	39億円	40億円	▲0億円
経 常 利 益	494億円	564億円	▲69億円
特 別 利 益	219億円	423億円	▲203億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	200億円	400億円	▲200億円
利差補てん積立金取崩額	19億円	23億円	▲3億円
特 別 損 失	621億円	891億円	▲270億円
公庫債権金利変動準備金繰入額	421億円	491億円	▲70億円
国 庫 納 付 金	200億円	400億円	▲200億円
中 間 純 利 益	92億円	95億円	▲3億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

利益の状況 [一般勘定]

- ◇ 当中間期の**経常利益は92億円**で、前中間期に比べ、3億円の減少(▲3.8%)
- ◇ 貸付金利息が39億円減少した一方で、債券利息が28億円減少したこと等が要因
- ◇ **中間純利益は92億円**で、前中間期に比べ、3億円の減少(▲3.8%)

科 目	R3中間決算(A)	R2中間決算(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	560億円	599億円	▲38億円
貸付金利息	554億円	593億円	▲39億円
余資運用益	0億円	0億円	▲0億円
金利スワップ受入利息	1億円	0億円	0億円
その他の	5億円	4億円	0億円
経 常 費 用	468億円	503億円	▲34億円
債券利息	406億円	435億円	▲28億円
借入金利息	2億円	2億円	0億円
その他業務費用	17億円	20億円	▲2億円
営業経費	15億円	15億円	0億円
基金管理勘定繰出金	25億円	29億円	▲4億円
その他の	1億円	0億円	0億円
経 常 利 益	92億円	95億円	▲3億円
特 別 利 益	—	—	—
特 別 損 失	—	—	—
中 間 純 利 益	92億円	95億円	▲3億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

利益の状況 [管理勘定]

- ◇ 当中間期の**経常利益は402億円**で、前中間期に比べ、66億円の減少(▲14.2%)。貸付金利息の減少額が債券利息の減少額を60億円上回ったこと等が要因
- ◇ 地方公共団体金融機構法等の規定に基づき、利益の範囲内で公庫債権金利変動準備金への繰入を行ったため、当中間期の純利益はゼロ

科 目	R3中間決算(A)	R2中間決算(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	605億円	719億円	▲114億円
貸付金利息	580億円	689億円	▲109億円
基金一般勘定繰入金	25億円	29億円	▲4億円
その他	0億円	0億円	▲0億円
経 常 費 用	203億円	251億円	▲47億円
債券利息	197億円	247億円	▲49億円
その他	5億円	3億円	1億円
経 常 利 益	402億円	468億円	▲66億円
特 別 利 益	219億円	423億円	▲203億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	200億円	400億円	▲200億円
利差補てん積立金取崩額	19億円	23億円	▲3億円
特 別 損 失	621億円	891億円	▲270億円
公庫債権金利変動準備金繰入額	421億円	491億円	▲70億円
国庫納付金	200億円	400億円	▲200億円
中 間 純 利 益	—	—	—

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

資産の状況 [機構全体]

- ◇ 当中間期末現在の**資産総額は24兆7,870億円**で、前年度末に比べ、705億円の減少(▲0.3%)
- ◇ 貸付金が1,323億円、有価証券が3,170億円増加した一方で、現金預け金が5,171億円減少したこと等が要因

科 目	令和3年度中間期末現在(A) (R3.9.30)	令和2年度末現在(B) (R3.3.31)	増 減((A)-(B))
貸 付 金	23兆2,767億円	23兆1,443億円	1,323億円
有 価 証 券	9,100億円	5,930億円	3,170億円
現 金 預 け 金	5,892億円	1兆1,064億円	▲5,171億円
金 融 商 品 等 差 入 担 保 金	13億円	32億円	▲18億円
そ の 他 資 産	61億円	69億円	▲7億円
有 形 固 定 資 産	25億円	26億円	▲0億円
無 形 固 定 資 産	8億円	9億円	▲0億円
合 計	24兆7,870億円	24兆8,576億円	▲705億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

資産の状況 [一般勘定・管理勘定]

- ◇ 当中間期末現在の一般勘定における**資産総額は19兆4,038億円**で、前年度末に比べ、3,643億円の増加(+1.9%)
- ◇ 当中間期末現在の管理勘定における**資産総額は6兆234億円**で、前年度末に比べ、3,955億円の減少(▲6.2%)

	科 目	令和3年度中間期末現在(A) (R3.9.30)	令和2年度末現在(B) (R3.3.31)	増 減((A)-(B))
一 般 勘 定	貸 付 金	17兆8,965億円	17兆3,297億円	5,667億円
	有 価 証 券	9,100億円	5,930億円	3,170億円
	現 金 預 け 金	5,892億円	1兆1,064億円	▲5,171億円
	金 融 商 品 等 差 入 担 保 金	13億円	32億円	▲18億円
	そ の 他 資 産	32億円	33億円	▲1億円
	有 形 固 定 資 産	25億円	26億円	▲0億円
	無 形 固 定 資 産	8億円	9億円	▲0億円
	合 計	19兆4,038億円	19兆394億円	3,643億円
管 理 勘 定	貸 付 金	5兆3,802億円	5兆8,145億円	▲4,343億円
	そ の 他 資 産	29億円	35億円	▲5億円
	一 般 勘 定 貸	6,402億円	6,008億円	394億円
	合 計	6兆234億円	6兆4,189億円	▲3,955億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

負債の状況 [機構全体]

- ◇ 当中間期末現在の**負債総額は24兆4,383億円**で、前年度末に比べ、786億円の減少(▲0.3%)
- ◇ 負債の大半を占める債券は前年度末に比べ、1,459億円の減少。当期発行額が償還額を下回ったこと等が要因
- ◇ 公庫債権金利変動準備金は、借換益等421億円を繰り入れる一方で、200億円の国庫納付を行った結果、前年度末に比べ、221億円の増加

科 目	令和3年度中間期末現在(A) (R3.9.30)	令和2年度末現在(B) (R3.3.31)	増 減((A)-(B))
債 券	20兆2,647億円	20兆4,107億円	▲1,459億円
借 入 金	3,220億円	2,940億円	280億円
地方公共団体健全化基金	9,202億円	9,202億円	—
金利変動準備金	2兆2,000億円	2兆2,000億円	—
公庫債権金利変動準備金	6,630億円	6,409億円	221億円
利差補てん積立金	107億円	127億円	▲19億円
金融商品等受入担保金	518億円	334億円	184億円
そ の 他	55億円	48億円	7億円
合 計	24兆4,383億円	24兆5,169億円	▲786億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

負債の状況 [一般勘定・管理勘定]

- ◇ 当中間期末現在の一般勘定における負債総額は19兆1,129億円で、前年度末に比べ、3,563億円の増加(+1.9%)
- ◇ 当中間期末現在の管理勘定における負債総額は5兆9,656億円で、前年度末に比べ、3,955億円の減少(▲6.2%)

	科 目	令和3年度中間期末現在(A) (R3.9.30)	令和2年度末現在(B) (R3.3.31)	増 減((A)-(B))
一 般 勘 定	債 券	14兆9,758億円	14兆7,061億円	2,696億円
	借 入 金	3,220億円	2,940億円	280億円
	地方公共団体健全化基金	9,202億円	9,202億円	—
	金利変動準備金	2兆2,000億円	2兆2,000億円	—
	金融商品等受入担保金	518億円	334億円	184億円
	管理勘定借	6,402億円	6,008億円	394億円
	その他の	27億円	19億円	7億円
	合 計	19兆1,129億円	18兆7,566億円	3,563億円
管 理 勘 定	債 券	5兆2,889億円	5兆7,046億円	▲4,156億円
	公庫債権金利変動準備金	6,630億円	6,409億円	221億円
	利差補てん積立金	107億円	127億円	▲19億円
	その他の負債	28億円	28億円	▲0億円
	合 計	5兆9,656億円	6兆3,611億円	▲3,955億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

純資産の状況

- ◇ 当中間期末現在の**純資産総額は3,486億円**で、前年度末に比べ、80億円の増加(+2.4%)
- ◇ 一般勘定の間純利益92億円を一般勘定中間未処分利益として計上したこと等が要因

科 目	令和3年度中間期末現在(A) (R3.9.30)	令和2年度末現在(B) (R3.3.31)	増 減((A)-(B))
地方公共団体出資金	166億円	166億円	—
一般勘定積立金	2,657億円	2,657億円	—
一般勘定中間未処分利益	92億円	—	皆増
管理勘定利益積立金	578億円	578億円	—
繰延ヘッジ損益	▲7億円	4億円	▲11億円
			うち 現存スワップ時価評価分 ▲10億円 うち 繰延ヘッジ取崩分 ▲1億円 うち 金利スワップ期中解約分 0億円
合 計	3,486億円	3,406億円	80億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

(参考)

(単位:億円)

令和3年度9月期決算における主要勘定の状況

【貸付金】

前期末高 残 ①	貸付額 ②	回収額 ③	中間期末高 残 ①+②-③
231,443	10,487	9,163	232,767

【債券】

前期末高 残 ①	発行額 ②	償還額等 ③	中間期末高 残 ①+②-③
204,107	12,318	13,778	202,647

【地方公共団体健全化基金】

前期末高 残 ①	納付金等 ②	基金 運用益 ③	利下げ補てん 所要額 ④	一般勘定自己 財源充当額 ⑤	中間期末残高 ①+②+③ -(④-⑤)
9,202	-	33	117	83	9,202

【利差補てん積立金】

前期末高 残 ①	取崩額 ②	中間期末高 残 ①-②
127	19	107

【金利変動準備金・公庫債権金利変動準備金】

	前期末高 残 ①	国庫納付 ②	公庫貸付に係る 利下げ所要額 ③	債券借換益 ④	中間期末残高 ①+②+③+④
金利変動準備金	22,000	-	-	-	22,000
公庫債権金利変動準備金	6,409	▲200	25	396	6,630

(注) 一般勘定においても債券借換益は206億円発生しているものの、関係法令の規定に準じて算出した金利変動準備金の積立限度額(当該中間期末における一般勘定の貸付金残高の1,000分の100)を前期末残高が超えているため、積立てを行っていない。

※ 単位未満切り捨てのため、計が一致しない場合がある。